

北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会
 札幌市中央区北4条西12丁目
 1976年7月9日第3種郵便物認可
 定価 100円



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター

【5月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2004年5月発行】

もくじ	ページ
福祉NPO研修会報告	2
会計講習会/起業科講座案内	3
濱市さんの研修日誌/NPO認証数	4
NPOバンク/5周年報告/はこび愛ネット	5
NPO総合情報誌[えぬぴおん]第10号	6
NPOサポート事業のご案内	7
イラク人質事件について	8
札幌市出前講座を活用しましょう	9
書籍案内/情報BOX	10~11
助成金情報	12



年度末事務講座 5月コース

「総会の準備っているいろいろあるんですね。」「もうすでに定款変更したけど、認証申請が必要だとは知りませんでした!」「えっ? 登記は毎年するの?」 4月コースの講座ではこんな言葉が飛び交いました。知らなかったでは済まされない法人運営事務。あなたの団体は大丈夫ですか?この機会に面倒な事務を全部片付けてしまいましょう。ぜひご参加下さい。

- 5月17日(月) 総会運営講座 総会準備~議事録作成まで
 講師:小林董信(北海道NPOサポートセンター事務局長)
- 5月20日(木) 年度末書類作成講座 報告書かがみ~社員名簿、定款変更など
 講師:山本純子(北海道NPOサポートセンター 相談担当スタッフ)
- 5月21日(金) 変更登記講座 資産総額の変更・理事の変更など
 講師:大滝和子(NPO推進北海道会議理事・司法書士)
- 日 時 5月17日(月)・20日(木)・21日(金)いずれも時間は 14:00~17:00
 会 場 北海道NPOサポートセンター研修室(札幌市中央区北5西6札幌ビル8F)
 参加人数 各回とも 定員15名 (最少開催人数5人)
 参加費 各回とも 一人1,155円 (書式FD・税を含む)
 持ちもの 法人の定款・事業計画書をお持ち下さい。
 申 込 団体名・参加者氏名・連絡先電話番号を明記のうえ、
 FAX(011-281-8807)か Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp
 で、5月13日までにお申込み下さい。 問合せ電話番号 011-271-5208

会計決算事務については、3頁道民カレッジ「NPO会計講座」(5月10日~)をご活用ください。
 税務申告に関しては、NPO会計に詳しい税理士をご紹介します。お問い合わせください。
 北海道NPOサポートセンターでは、事業展開、会計・労務管理・リスク管理など組織運営に必要な相談を随時承っております。(会員に対するサポートです。詳しくは7頁を参照してください。)

予告 NPO推進北海道会議と北海道NPOサポートセンターの「通常総会」は
 5月25日(火)午後6時30分から札幌市中央区民センターで開催する予定です。

北海道新聞社会福祉振興基金助成事業 「福祉NPO法人スタッフ研修会」の報告
シンポジウム ～介護保険、支援費制度をどう活用するのか～ 先駆事例から学ぶ 福祉NPO法人の未来が、4月17日(土)午前10時～午後4時、札幌市中央区民センターで開催された。

全道でNPO法人約60事業所が介護保険事業及び支援費事業を行っている中で、これらの事業所に所属するホームヘルパーや支援員、事務職員に対する研修が一部を除いてほとんど行われていないことに着目し、こうした状況を改善する目的で、専門家の講演と先駆事例を持つ実践者をパネリストとするシンポジウム研修会が企画された。

参加費は資料代600円で、参加者は福祉NPO法人スタッフ、研究者、福祉事業者、報道関係者86名が参加した。

主催は北海道NPOサポートセンター、北海道介護NPO連絡会とSTネット北海道の協力をいただいた。午前10時に開会し、「北海道の福祉NPOを取りまく状況」報告が小林董信北海道NPOサポートセンター事務局長からあり、午前10時20分～11時10分**杉岡直人北星学園大学教授の「福祉NPOの役割と課題」講演**、11時10分～12時**田中尚輝NPO法人市民福祉団体全国協議会事務局長の講演「介護系NPOの最前線」～介護保険法、支援費制度、移送・移動サービスの行方～**が行われた。

午後は、1時～3時まで次の3つの分科会を行った。
【分科会1】(定員18人)～支援費制度をどう活用するのか～ 支援費制度に参入している事業所とこれから参入を予定している事業所スタッフ対象。現状の課題、問題点を出し合い集約する。制度の将来見通しの分析・情報共有。コーディネーター杉岡直人(北星学園大学社会福祉学部長)、パネリスト石澤利巳(札作連会長)、佐々木泰彦(障害者活動支援センターライフ)、日置真世(釧路・地域生活支援ネットワークサロン事務局代表)、平賀貴幸、(網走・夢の樹オホーツク専務理事)

【分科会2】(定員42人)パネルディスカッション～介護保険制度をどう活用するのか～ 介護保健指定事業所対象 主に他の研修(ケアマネ研修や介護実習等)では知り得ない部分、例えば自主事業(有償ボラ含む)と介護保険事業のバランス、事務や請求・会計処理業務、資金計画、契約や保障態勢といったマネジメントに関する悩みなどの解決につなぐ。コーディネーター清野光彦(新得・地域支援センターちいさな手理事、北海道介護NPO連絡会代表)パネリスト倉地美直(白老・どんぐりの家 総合施設長)、小谷晴子(札幌・アシストセンターマザー 理事長)、深瀬啓子(札幌・北海道たすけあいワーカーズ・ぼっけ ケアマネージャー)**【分科会3】(定員20人)参加型パネルディスカッション～移送・移動サービスの行方～** 国土交通省と厚生労働省の話し合いの結果、一定の方向が出たが、今後どのような展開になるのか。NPO事業者としての特徴をどのように出すのか。制度の見通しの共有など。コーディネーター田中尚輝(市民福祉団体全国協議会 事務局長)、パネリスト 澤出桃姫子(札幌・ホームヘルパーノア事務局長)、竹田 保(札幌・ホップ障害者地域生活支援センター代表)、星川光子(登別・いぶりたすけ愛 理事長)。

午後3時～4時 分科会報告と質疑、まとめの集会をアドバイザー杉岡直人氏、田中尚輝氏、清野光彦氏、司会小林董信で行った。まず、第1分科会報告が杉岡さんからあった。この分科会の主題が「障害者の自立支援」であり、「札作連」の当事者視点、釧路の「当事者に寄り添う」視点、網走の地域通貨「億縁」を活用した「地域の中の支え



合いの仕組み」などについてパネリストの発言要旨報告があった。また、介護保険と支援費の結合について、「ケアマネの独立性」の仕組みづくり、障害者の自己負担のあり方(高齢者とは違う)の問題など課題が指摘された。第2分科会報告は清野さんからあり、札幌の2人と白老(郡部)のパネリストの置かれている地域事情の違い、共通課題として「ミッションの継承」「地域連携」「ケアマネが困り込みしないような歯止め」などの論点が紹介された。第3分科会報告は田中さんが行い、移動移送に参入している事業者は全国で概ねホームヘルプ系1000団体、障害者当事者団体250、社協系1200、計2500団体あり、これら既存団体は2年間(猶予期間として)事業継続が可能。今後各都道府県または市町村単位で「運営協議会」設置が義務づけられており、道内でも早急に道と話し合うべき。との報告があった。



その後、「支援費制度の外出支援」で市町村によって判断基準がかなり違うといった議論などがあり、「移送サービス」での違法行為の範囲や「有料」の基準などの疑問があった。講師・アドバイザーの杉岡さん、田中さんから多くの示唆をいただいた1日研修だった。(小林)

この研修会の概要は5月中に冊子化する予定です。

道民カレッジ連携講座（北海道NPOサポートセンター実施分）

いずれも会場は札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階研修室

NPO法人のための会計講習会『年度末決算書を作りましょう』

日時： 第1回 5月10日(月) 18:00~20:00

第2回 5月12日(水) 18:00~20:00

第3回 5月17日(月) 18:00~20:00

参加人数 10名程度(1団体2名まで)

対象者 会計の基礎から学びます。会計経験の少ない方でも受講いただけます。

パソコンの操作(キーボード入力・マウス操作)ができる方に限らせていただきます。

参加費 1名 6000円

講師 小沼千佳子(北海道NPOサポートセンター 会計担当)

申し込み 団体名 参加者氏名 連絡先 電話番号を

FAX 011-281-8807 か、Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp でお申込下さい。

締め切り 5月7日(金) 定員になり次第締め切ります。(最小受講人数3人)

個別講習も実施します。詳細はお問い合わせ下さい。税務処理などはNPO会計に詳しい税理士をご紹介します。問合せ電話011-271-5208【山本】

NPO起業科講座短期集中コース

開催日：5月31日(月)~6月14日(月) 時間：午前10:00~12:00

会場：札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F 北海道NPOサポートセンター研修室

定員：20名 受講料：10,000円(全5回、資料代込) 対象 NPO法人をこれから立ち上げようとする方。既にNPO法人を立ち上げているが復習したい方。NPO法人のスタッフ等。

問合せ電話011-271-5208【山本】(最小開催人数5名)

申込 FAX 011-281-8807 か、Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp でお申込下さい。

第1回 5月31日(月) 「NPOとは何か」(担当：小林董信)

第2回 6月2日(水) 「NPO設立実務」(担当：山本純子)

第3回 6月7日(月) 「NPOの会計、労務管理」(担当：松本公洋)

第4回 6月9日(水) 「NPOの事例研究」(担当：関根友則)

第5回 6月14日(月) 「NPOの事業計画」(担当：関根友則)

講座名	定員	受講料	日程	備考
NPO起業科短期集中コース	20	10,000	5月31日, 6月2, 7, 9, 14日(10:00~12:00)	5回
NPO会計講座	10	6,000	5月10, 12, 17日(18:00~20:00)	3回
NPO会計講座	10	6,000	6月21, 24, 27日(18:00~20:00)	3回
NPOパソコンプレゼンテーション	10	6,000	5月20, 24, 27日(18:00~20:00)	3回
NPOパソコンプレゼンテーション	10	6,000	7月1, 5, 8日(18:00~20:00)	3回

NPO推進北海道会議・北海道NPOサポートセンターから2004年度会費納入のお願い

このニュースは会員のみなさまからの会費で作成し配送しています。4月から新年度になりましたので2004年度の会費の納入をお願いいたします。NPO推進北海道会議/北海道NPOサポートセンターは、北海道内でのNPO活動の促進のため、役割分担して活動しております。主旨をご理解の上、引き続き会員としてご参加いただくようお願いいたします。

【NPO推進北海道会議】 1995年設立。NPOを広めるための広報活動、フォーラムやシンポジウムなどの開催、NPO市民講座の開催、行政との連携、政策提言活動、情報の提供活動を行っています。会費 個人一口 2,000円 団体 一口 5,000円 郵便局口座番号:02760-8-9885 口座名義「NPO推進北海道会議」

【北海道NPOサポートセンター】推進会議の活動をさらに広げるかたちで、1998年3月に設立。推進会議の活動が主にNPOを広めるのに対し、サポートセンターでは市民活動団体からの相談や、法人格取得に関する具体的なアドバイス、NPO法人連絡会の開催、NPO法人の実務サポート等を行っています。会費 個人一口 3,000円 団体一口 10,000円 郵便局口座番号:02700-1-62184 口座名義「北海道NPOサポートセンター」

推進会議、サポートセンター両方の会員になって頂いても結構です。(大歓迎です。)

NPO研修日記

2004年度 その1



濱市朝子

「元気の素」

はじめまして。4月から1年間サポートセンターで研修させていただくことになりました、濱市(はまいち)と申します。道庁で10年余り働いてきましたが、以前から行政の行き届かないところで多くのNPOが活躍していることに関心がありました。以前読んだ本に、「NPOは個人の思い(こころざし)を社会の力にする仕組み」とあり、NPOには限りない可能性があるのでは、と研修を希望していました。

希望していたとはいえ、研修することが決まってからは、行政とは全く異なる組織で働くことに対して不安と期待が入り交じり、落ち着かない日々を過ごしていました。そんな時、上司に言われたのが、「早く自分の『元気の素』を探さなくちゃね。」新しい生活、新しい職場、新しい仕事・・・何もかも新しい環境を心配しての言葉でした。

サポートセンターにきて、あっという間に1ヶ月が過ぎようとしています。ここサポートセンターのスタッフ、そして、これまでににお会いした方々のNPOに対する熱い情熱に圧倒される毎日です。「元気の素」を探す必要はどうやらなさそうです。ここにはNPOが、地域が、そして社会が元気になる「素」が沢山ありそうです。様々な活動をしている方々が瞳を輝かせながらその将来像について語る姿を見て、自分もそんな「元気の素」の一人になればと思っています。1年間よろしくお願い致します。

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npodata/pref.html>

全国の申請受理数「北海道含む」 3/31現在(内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	17675	16160	69	174
道内の申請受理数 3/31現在(北海道)	受理数	認証数	不認証数	解散数
	638	589	0	4

認証数の多い県(人口比)

1 東京都	2.658
2 京都府	1.552
3 群馬県	1.516
4 長野県	1.484
5 大阪府	1.463
6 福井県	1.341
7 高知県	1.321
8 三重県	1.204
9 滋賀県	1.199
10 大分県	1.198
11 神奈川県	1.096
12 山梨県	1.057
13 北海道	1.039
14 千葉県	1.033
15 宮城県	1.025
16 岡山県	1.024
17 山形県	1.020
18 熊本県	1.012
19 石川県	1.008
20 沖縄県	1.008

道内支庁別人口/NPO法人数/1万人指数

支庁	人口	認証数	人口比
石狩	421056	34	0.807
渡島	457828	30	0.655
檜山	53314	4	0.750
後志	257712	21	0.815
空知	375721	28	0.745
上川	547194	42	0.768
留萌	64022	7	1.093
宗谷	78207	3	0.384
網走	331605	29	0.875
胆振	433759	35	0.807
日高	64162	2	0.312
十勝	362489	43	1.186
釧路	272952	15	0.550
根室	86499	6	0.694
支庁計	3806520	299	0.785
札幌	1860000	290	1.559
全道計	5666520	589	1.039

都道府県人口1万人に対するNPO法人数。

道内

活動分野別認証申請状況

区分申請受理数うち認証数割合

1 保健医療福祉活動	282	265	45%
2 社会教育活動	36	33	6%
3 まちづくりの推進	97	90	15%
4 学術文化芸術スポーツ	73	69	12%
5 環境の保全活動	63	55	9%
6 災害救援活動	1	1	0%
7 地域安全活動	0	0	0%
8 人権平和の推進	3	2	0%
9 国際協力の活動	12	12	2%
10 男女共同参画	1	1	0%
11 子どもの健全育成	36	33	6%
12 情報化社会の発展	9	4	1%
13 科学技術の振興	1	0	0%
14 経済活動の活性化	9	8	1%
15 職業能力雇用支援	2	2	0%
16 消費者の保護	1	1	0%
17 運営活動連絡助言	13	13	2%
合計	639	589	100%

北海道(道庁)では、インターネットで情報提供しています。
<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npodata/pref.html>

‘2004 NPOバンク融資申込みのお知らせ

第7回融資	申込開始：4月19日～5月7日	・融資実行：6月下旬
第8回融資	申込開始：7月26日～8月20日	・融資実行：9月下旬
第9回融資	申込開始：10月～11月	・融資実行：12月中旬

上記の日程は予定です。状況によっては変更する場合があります。融資に際して必要な書類はURLから取り出せます。

予 告 ～市民がつくる銀行～

「第1回 NPOバンクフォーラム」(仮称)のお知らせ

国内初のNPO法人によるNPO向け融資を行う「北海道NPOバンク」は2002年8月に設立されてから2年になるとうとしています。このような市民系バンク設立の動きは全国的に広がりつつあり、NPOの活動を資金面から支援していく存在として今後ますます注目される所です。当フォーラムでは、北海道NPOバンクの取り組みを広く紹介するとともに、他都道府県における市民系バンクの創出やネットワークづくりを目指します。

日時/場所：2004年7月16日(金)13:00～18:00(予定)

講演会、パネルディスカッション、レセプション 北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7条西6丁目)

7月17日(土)9:00～12:00(予定)分科会 札幌市男女共同参画センター(札幌市北区北8条西3丁目)

内 容：全国の主な市民系バンク関係者を講師として招き、NPOを取り巻く資金調達環境の現状と問題点を探るパネルディスカッション及びテーマ別の分科会を開催します。

主 催：北海道NPOバンク なお、詳細につきましては次号(6月号)紙上でお知らせします。

お知らせ・お願いコーナー

サポート便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います

NPOバンクに関する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内
TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524 <http://npo-hokkaido.org/>

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター5周年の集いが4月16日夕刻、北海道クリスチャンセンターで開催されました。お忙しい中ご参集くださったみなさまに感謝申し上げます。道内各地から約100名の参加で楽しいひとときを過ごすことができました。佐藤隆NPO推進北海道会議事務局長の司会で、田口代表理事の5年を振り返った挨拶にはじまり、来賓の上田札幌市長、山岸NPOサポートセンター理事長の挨拶、NPO越智基金活用団体を代表して「飛んでけ車いすの会」「夢の樹オホーツク」の活動紹介、



札幌通運と北海道労金へのユニークな感謝状贈呈、NPOサポセン松本さんのギター弾き語りなどがあり、えぬびおん編集長うさびょん齋藤さん主導の手話付き、人形付きアコーディオン演奏付き歌唱に上田市長も参加して大いに盛り上がりしました。すすきの「あら!あずましい会」長谷川理事長のアピールなどがあり、最後に杉山北海道NPOサポートセンター理事長の乾杯で終了しました。



引越し・旅行・車検のことなら…「**札通**」は「**こび愛ネット**」をご利用ください!

ご存知かもしれませんが、飛んでけ!車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札通さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの?申し込みはとても簡単。下記の「こび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札通トラベル)、車検・自動車修理(札通自工)、と文房具(札通商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札通「こび愛ネット」推進事務局TEL(011)251-4111内線250番
(担当:佐藤)FAX(011)231-7063

北海道NPOサポートセンターが発行する

定価800円

北海道のNPO総合情報誌 [えぬぴおん]

偶数月月中旬発行

第10号(4月25日発行)の主な内容

特集

スポーツで北海道に夢と活力を!!

NPO法人バーバリアンフットボールクラブ NPO法人札幌イーガー・ビーバーズ NPO法人北海道ベースボールクラブ 昭和新山国際雪合戦(壮瞥町) NPO法人国際パークゴルフ協会(幕別町) NPO法人伊達市カーリング協会(伊達市)ほか。

フロント対談

めざせ!スポーツ王国北海道-誰でもスポーツを楽しめるスポーツクラブを各地に 北海道フットボールクラブ(HFC)代表取締役副社長 石水勲さん 北海道バーバリアンズラグビーフットボールクラブゼネラルマネージャー 平島英治さん、

スポーツライター 伊藤龍治さん

NPO現場百景

「コンフォタブル」になるために

NPO法人 コンフォタブルパワー

気軽に楽しめて誰でも元気になれる

NPO法人 楽しいモグラクラブ

それゆけNPO!ただいま発信準備中

環境エネルギー研究会「環の会」(伊達市)

連載「飛びまわれ車いす」とんでけ車いすの会 下村



新連載 笑顔あつまれ!

コミュニティな複合ハウス

連載エッセー ねおすのNPO的経営談義

ワーカーズが行く 宅配弁当「なず菜」

この人似合いたい 10

漫画家、「はた万次郎」さん

ダム建設から「サンル川」を守ろう!無駄な公共事業を見直し、豊かな環境を次世代に~

アメリカNPO視察レポート

連載4石山奈緒難民キャンプで出会った子どもたち

海外、とどころ「食」事情3

日本の食はどうか?イタリアで考える 白山晴雄

道内トピックス 逢坂町長 & 上田市長対談 「まちづくり基本条例」

赤星たみ子さん講演会ごみを出さない暮らしのコツ

遺伝子組み換え作物とは ~天笠啓祐講演会

「平和」というか、「でこぼこ和」のために

天木直人さん講演会

さっぽろ自由学校「遊」2004年度公開講座のご案内

吉備とうぎびのカタカナ用語を斬る!

えぬぴおんバックナンバー紹介

「えぬぴおん創刊号」2002年10月1日創刊! <トップ対談>北海道経済産業局・高橋はるみ局長 vs 北海学園大学助教授・樽見弘紀さん 「NPOが北海道を変える」<この人に聞きたい>「北海道から新しい波を起こすために」宮田昌和さん(BizCafe 運営会議議長)NPO現場百景ノ・札幌チャレンジド・

「えぬぴおん第2号」2002年12月10日発行 グラビア 国際協力フェスタ/NPO・NGOスタッフトレーニング/DPI世界会議 <フロント対談>田中康夫(長野県知事)vs 逢坂誠二(ニセコ町長) 特集「高齢者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札大佐藤郁夫先生の対談。

「えぬぴおん第3号」2003年2月20日発行 グラビア 1・17災害救済ネットワークコンサート/札幌子ども会議/市民活動フォーラム <フロント対談>香山リカ/逢坂誠二 この人に会いたい! 東原太陽グループ社長

「えぬぴおん第4号」2003年4月20日発行 フロントインタビュー 地域創造をめざして札幌学院大学大学院教授 上田陽三さん これからは、大学で市民活動やNPO, コミュニティビジネスを学ぶ時代? この人に会いたい! 若者に人気のイベント企画屋うわさの仕掛け人、木野哲也さんに接近。

「えぬぴおん第5号」2003年6月16日発行<フロント対談>「地域が輝くとき--映画でまちおこし」映画「田んぼ de ミュージカル」とショートフィルム崔洋一(映画監督)vs 久保俊哉

「えぬぴおん第6号」2003年8月13日発行フロント対談「崩れた社会のネットワークをどう回復させるか~ NPOが重要な役割を果たす~」札幌市長上田文雄さん vs シナリオライター小山内美江子さん

「えぬぴおん第7号」2003年10月25日発行フロント対談NPOが日本を変える「一人ひとりが自己実現できる社会をめざして」上田文雄(札幌市長)× 北川正恭(前・三重県知事・早稲田大学大学院公共経営研究科教授)× 早瀬昇(特定非営利活動法人 日本NPOセンター常務理事)NPO全国フォーラム北海道会議のオープニングフォーラムより収録。民間人であり、NPO理事から札幌市長になった上田文雄氏、三重県知事からNPO人になった北川氏らが「NPOは真の民主主義実現の担い手になりうるか」をテーマに語りあう。

「えぬぴおん第8号」(12月20日発行) アラエール号でエコな生活・おもちゃフォーラム・札幌市民1000人ワークショップ フロント対談「北海道に夢とパワーを! 起業を考える」NPO法人札幌ビズカフェB2代表 宮田昌和さんVS. HCM(ヒューマン・キャピタル・マネジメント)代表取締役 土井尚人さん 特集新しい働き方「起業」・総論「起業のススメ」札幌学院大学河西邦人さん・アントレプレナー講座参加者アンケート・NPO起業成功事例・生活者として地域と仕事をつくりだす 「ワーカーズコレクティブ」という働き方・ベンチャー起業成功事例

「えぬぴおん第9号」(2月25日発行) Zoom Up 道民とともに森づくりの集い・NGOとこんにには! NGO屋台村 フロント対談「NPO法は2年後になくなる!」IHOE代表川北秀人さん×NPO推進北海道代表会議代表理事杉岡直人さん 特集「ボランティアスピリッツで生きる!」ワーカーズがいく 子育て支援ワーカーズ「プチトマト」現場百景・浪花町十六番倉庫(釧路市)・札幌VO それゆけNPO 全道の森と川の生態系・環境の守り手に スキンカモフラージュ技術をQOLの向上に 新連載・飛びまわれ車いす 飛んでけ車いすの会

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 03年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月～6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	20,000～
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します	1枚	200
印刷(予約制)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します	片面 B5 1000枚	2,535
黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は良心的な印刷所を紹介)	紙代込みです。(100枚以上～) (厚紙や色紙は少し高くなります。ご相談下さい) A3まで印刷可(両面は片面の倍)	片面 A4 1000枚	2,535
		片面 B4 1000枚	4,035
		片面 A3 1000枚	4,035
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します(100枚単位) 片面初版代:300円、両面初版代:500円が別途かかります	片面 カラー	1,400
		片面 白黒	1,000
		両面 カラー	2,200
		両面 白黒	1,800
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します	片面のみ	1,000～
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	200
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります	5枚以上 1枚	4,300
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	60～
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、提出までのサポートを行います	介護保険 1事業所	10,000～
		支援費 1事業所	7,000～
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします	1事業所	2,500～

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(※スタッフがお聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンターNPO相談センター / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

- すいすい読めてよくわかる - 『ぜ～んぶまるごとNPO』2004年度版好評発売中

発行 NPO法人北海道NPOサポートセンター 定価400円(税込み)

これからNPO法人格取得を考えている団体におすすすめ。

(目次) 市民活動とは 法人格取得の申請手続き NPOと法制度の現状 会計、事業報告、税務について 資料編として、・特定非営利活動促進法(平成15年5月1日施行版)・特定非営利活動促進法施行規則(同)・特定非営利活動促進法施行条例・申請に必要な書類(ひな型)を掲載しています。

[問合せ]北海道NPOサポートセンターTEL:011-204-6523 E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp

イラクからの自衛隊撤退と3人の救出を求める会(3人を救う会)活動報告 代表 関根 友則

<活動期間 4月9日~4月15日>

イラクにて拘束された3人の日本人の救出を求めて、今井君の友人などの有志が、北海道NPOサポートセンターの事務所を拠点として集まり発足しました。(4月9日午前から有志が集まり始め、同日午後発足)約40名の有志が会に参加しました。

私たちは、(1)署名活動で政府に働きかけることと(2)インターネットやホームページ、マスコミやミニコミなどのメディアを通じて広く市民に働きかけることの2点を活動の柱に据え活動をはじめました。

私たちは3人の人命を最優先と捉え、3人の救出のためには自衛隊の一時撤退が必要と判断し、その手段として、(武装グループの要求であった)自衛隊撤退と3人の救出を求め署名活動を開始しました。その後「3人の命は大切であるが、自衛隊撤退は別の問題である」と捉える市民が多いことも考慮し、自衛隊撤退の文字を削除した3人の救出を求める署名用紙も作成し、より多くの人たちが賛同できる3人の救出に向けた政府への呼びかけ運動として発展させていきました。署名は、街頭、FAX、インターネットによって集めました。

私たちは拘束された3人の活動(特に私たちの元には今井君の活動についての情報が豊富でしたので、今井君に関する情報を中心に)をより多くの人たちに知っていただくことが日本の市民からの賛同を得ることに繋がると考え、メディアへも積極的に情報発信をしていきました。またそれは日本国内に留まらず、国際世論への影響も視野に、アルジャジーラやイラク、アメリカのメディアにも今井君たちの活動を英訳したメールを送り、より多くの人たちに向けた情報発信を依頼してきました。

NPO-Hokkaido.org ホームページ、北海道NPOメーリングリストや全国NPOML等を通じて、できる限りの情報収集と発信を行いました。

3人の解放に向けた市民の活動が活発であることを示すために、他の活動団体に呼びかけ、札幌での署名数の把握につとめ、それをマスコミに伝えました。

3人の解放の知らせを受け、当初のミッションを終えた当会は、解散しました。しかし当会メンバーは個人単位でも、その後の3人を支える活動について積極的に取り組みたいと考えております。

3人を救う会は4月15日3人が解放されたとの確報を受け解散。北海道NPOサポートセンターでは、今井さんとの交流があり、人道支援の見地から札幌ビル8階の空きスペースを活動拠点として無償貸出しました。

下記の毎日新聞寄稿文は、今回の事件でNPO/NGOの視点からNPO北海道MLでも積極的に発言された浜辺氏の了解を得て掲載するものです。

毎日新聞 4月26日朝刊 4面「論点」から NGOや市民を圧迫 - - 浜辺哲也氏

思いやり失い被害者を非難する日本人 国民を保護するのは国の最重要の任務

以下は、あくまで個人的な見解である。

今回イラクで人質となった5人の被害者が危険を承知でイラクに向かった理由は何か。親を失った少年たちの支援や劣化ウラン弾の被害調査は自衛隊にできない。ジャーナリストがいなければ市民の視点でイラクの状況を知ることができない。

アンマンのホテルに被害者の一人はメッセージを残した。治安が悪化するバグダッドに行けるのは、「完全に自己責任とれる方に限ります」、と。彼らは使命感と共に「自己責任」も意識していた。

しかし、個人がコントロールできない力によって誘拐された。米国の攻撃を受けたファルージャ市民の怒りは同盟国の市民に向けられた。同時期に23カ国以上、約70人が誘拐され、命を落とした人質もいる。日本人5人が無事解放されたのは、本人たちのイラクへの想(おも)いが相手に伝わったこと、心ある市民と各国政府の努力の賜物(たまもの)である。

誰もが無事解放を喜び安堵(あんど)したはずだが「被害者には自己責任の意識が欠けており、多くの人々に迷惑をかけた」と非難する声が政府や与党から上がった。

私は強い違和感を覚えた。何故(なぜ)なら、国民の生命を守ることは国の最も基本的な役割であり、そのために警察や自衛隊が存在する。外務省設置法には邦人の保護が規定されており、海外で事故や犯罪が起きた時に、国民を無事保護することは最重要の任務である。ならば、救出費用を国民である被害者に請求する法的根拠は何であろうか。

何故、政府や与党は人質事件の被害者に「自己責任論」を浴びせ非難するのか。

自衛隊撤退論が起きないよう、人質事件の原因を被害者の「自己責任」に転嫁しようとする政治的な意図が働いたとの指摘さえ出ている。

マスコミの報道を通じて「自己責任論」や「自作自演説」が広まり、それらに誘導されて多くの日本人が被害者と家族を責めた。

日本人はテロの危険に加え、雇用や年金、金融財政の将来に不安を覚え精神的に追い詰められ、相手を思いやる余裕を失っている。自分では行動を起こさずに、政府と違う形で国際貢献に取り組む個人を「迷惑だ」と言って否定する。国際世論は奇異の目で見ています。国の政策に異議を述べることが非難されるなら、多くのNGOや心ある市民は圧力を恐れて口をつくむであろう。それでは、第二次大戦前と変わらないのではないかと。日本の民主主義は瀬戸際にあるのかもしれない。

今回の事件はNGOと市民に教訓をもたらした。(海外での活動で)危機が迫った時、再び政府は自己責任を求めらるであろう。これまで以上に、危機管理、自己統治の仕組みを市民活動の中に築かなければならない。政府の力に頼ることなく、その活動を世界中の人々に伝える仕組みをどうやって作り上げるか。

5人の解放には国を超えた市民のネットワークが大きな役割を果たした。そこに希望の光を感じる。

人物略歴 はまべ・てつや 1964年生まれ。東京大法卒。旧通産省に入省。産業構造審議会NPO部会の設置、運営を担当。NPOに関する論文など多数。現在、経済産業研究所総務副ディレクター。

札幌市出前講座を活用しましょう

NPOと行政との協働が課題になっています。私たちは行政施策について多くの不満があり、要求や批判を行ってきました。しかし、NPOの側にも協働をすすめる相手の一つである行政の仕組みや意志決定の流れなどわからないで文句を言っているくらいがあります。4月28日にはNPO法人APIジャパンが「札幌市財政税制会議」という勉強会を立ち上げ、NPOを含む市民団体が札幌市の税財政の仕組みを理解する中から協働政策提案を構想する試みをはじめました。

こうした機運の中で、札幌市が昨年度から導入した「出前講座」の制度を活用して市の仕組みを理解することが有効と考えました。札幌と近郊のNPOのみならず、積極的にこの制度を活用してNPOと市の風通しを良くしていきませんか。出前講座の申請書類等北海道NPOサポセン事務所にも用意しました。お気軽にお問い合わせください。電話011-204-6523（小林董信）

<札幌市出前講座のあらまし>

札幌市では、市民の皆さんへの情報提供と対話の一環として、市職員が皆さんの要望に応じて地域に出向き、市の施策や事業について分かりやすく説明を行う「出前講座」を実施いたします。これは、市民の皆さんに市政への理解を深めていただくとともに、市職員が直接、皆さんの生の声をお聞きすることにより、寄せられた意見や提言などを事務や事業の見直しに役立てていこうというものです。10分野、合計194の講座のテーマを用意しましたので、多くの皆さんのご利用をお願いいたします。

申し込みができるのは・・・札幌市内に在住、在学、在勤するおおむね20人以上が参加予定の町内会、サークル、PTA等の団体やグループです。

開催時間と場所は・・・質疑応答、意見交換の時間を含めて、原則として平日の午前9時から午後5時までの間のおおむね1時間30分から2時間を目安としてください。

講座の実施会場は札幌市内とし、お申し込み団体（グループ）でご用意ください。

申し込み方法は・・・テーマ集から希望テーマを選んでください。

あらかじめ担当課に電話で連絡をします。

申込書に必要事項（希望テーマ、開催希望日時、実施会場、団体（グループ）名、連絡先、参加予定人数等）を記入し、希望日の1カ月前までに担当課に持参か送付、ファクスで申し込みます。

申込書は市役所の担当課や区役所広聴係で配布しています。（PDFファイルをダウンロードしたものも可）

担当課の業務の関係で、実施日時の変更など担当課から実施の詳細についてご相談・調整させていただくことがありますので、ご協力をお願いいたします。

「出前講座」は皆さんに市政について理解を深めていただくためのものです。苦情や要望のみをお聞きする場ではありませんので、この趣旨をご理解のうえ、お申し込みください。

出前講座の流れ テーマを選ぶ 担当課に電話連絡 申し込み 出前講座の実施

～「出前講座」Q&A～

Q1 講師は？ A1 札幌市の職員（原則として課長職以上）が直接お話しします。

Q2 費用はかかりますか？ A2 講師料、講師交通費等の費用はかかりません。ただし、会場はお申し込み団体でご用意していただきますので、経費（会場使用料、設備使用料等）がかかる場合は、すべて負担していただきます。

Q3 テーマ集にない内容について申し込みできますか？ A3 ご要望の内容に近いテーマの担当課または札幌市広報課にご相談ください。可能な範囲で、ご要望に沿うようにいたします。

Q4 講座の時間を短く（長く）することは可能ですか？ A4 可能な範囲でご要望に沿うように調整いたしますので、お申し込みの際にテーマの担当課に具体的にご相談ください。

Q5 平日の夜や土・日・祝日でも開催できますか？ A5 原則として平日の午前9時から午後5時までとしておりますが、可能な範囲でご要望に沿うよう調整いたしますので、テーマの担当課にご相談ください。ただし、どうしても講師の都合がつかない場合もありますので、ご理解ください。

「出前講座」に関するお問い合わせは札幌市広報課（電話011-211-2036）へ

お申し込み・講座の内容については各担当課へ

企業とNPOの協働フォーラム

4月16日午後2時～50名の参加で開催しました。2002年度の「NPOステップアップセミナー」「企業とNPOのマッチングをめざす交流会」を経て、2003年度は「企業とNPOの事例」を掘り起こすべく道内7圏域で「企業とNPOの協働推進会議」を行ってきました。その集大成としてのフォーラム開催でした。函館、北見、旭川、苫小牧、帯広、札幌での協働事例報告のあと、帯広、函館、釧路のNPOリーダーと札幌の企業経営者をパネリストとするディスカッションを行いました。事例はそれぞれ個性的であり、北海道グリーンファンドとの協働事例をつくった㈱モロオの鈴木常務の話は示唆にとむものでした。（小林）



書籍案内 2004年度版

介護事業所ガイドブック発売中!!

札幌市介護保険・福祉サービス「事業所ガイドブック」講評発売中です!!。札幌市内事業所1336カ所!を掲載。(一部市外を含みます)サービスの提供地域やサービスの時間、人員体制、利用料金、などなど情報が満載の一冊です。

介護保険事業所は在宅・施設サービスのほとんどを収録。介護保険対象外サービスは下記を掲載。

【介護保険対象外事業所】-

- ホームヘルプサービス
- 理美容サービス
- 配食サービス
- ミニデイサービス
- 移送サービス
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 高齢者共同住宅
- 札幌市在宅介護支援センターの情報も併せて掲載しております。

是非お手元にどうぞ。

発行 北海道NPOサポートセンター

[A4版 448ページ定価税込み2000円]

問合せ TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524



NPOな..

書籍案内 **げんぱの知恵袋** 価格：2,500円(税別) A4判：126ページ現場の知恵が

もりもりたくさん!! 横浜市内のNPOから集めた、現場の知恵やノウハウをご紹介します。毎日の業務で「ヨソの団体ではどうしているのかしら?」と思ったら...「うちにはない解決策」が欲しくなったら...料理のレシピのように開いて、自分に必要な情報をピックアップ!

- ヘルパーの雇用
- ヘルパーの育成
- <新任ヘルパー>
- <現任ヘルパー>
- <サービス提供責任者
- ・管理者>
- 事務局スタッフ
- 理事
- 組織運営
- コミュニケーション
- 経営資源の調達
- リスクマネジメント
- 管理業務 お役立ちリスト



事務所移転時の手続き、理事長交代時の手続き、神奈川県・横浜市(委託事業)実地指導の調査項目リスト [問合せ]北海道NPOサポートセンター TEL:011-204-6523

情報BOX

ezorock メンバー &

ライジングサンロックフェスティバル

ごみゼロナビゲーションスタッフ大募集!!
一緒に活動を作り上げていく仲間を大募集します!
メンバー募集!!

私たちは一人ひとりが環境問題に対する行動を起こすきっかけづくりを目的として活動しています。

10代・20代のメンバーを中心に様々な企画を行っていますが、現在は、ライジングサンロックフェスティバルでの活動に向けて動いています。

現在、ライジングサンロックフェスティバルを含めた、活動を一緒に行ってくれるメンバーを大募集中です!

ezorockの活動は今年で4年目を迎えます。

近年、環境問題が大きく取り上げられていますが、身近な問題として捉えられていないのが現状です。

私たちは環境問題をTVで流れる他人の問題ではなく、個人の努力ひとつで改善することが可能な「身近な問題」であることに気づいてもらうために活動しています。

〃、活動紹介 今までのいろいろな活動を行ってきました。今年も引き続き行う活動もありますが、新しい活動も行っていこうと考えています。もちろん、オリエンテーションでも説明しますが、参考までにいくつかの活動内容を簡単に紹介します。

ツアー 体験エコ教室 大学祭 nico 写真展

ライジングサンロックフェスティバル

オリエンテーション開催

日時：5月8日(土) 13:00~と18:00~

場所：ezorock事務所

住所：札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F
・JR札幌駅南口より徒歩3分第2ワシントン西隣
申し込み・お問い合わせ-----ezorock
電話：090-1388-6546(藤田)

MAIL：ezo_rock@hotmail.com

URL：<http://www.gomizero.org/ezorock/>

RISING SUN ROCK FESTIVAL 2004 in EZOでのNGO/NPO village開催決定!

~今年の夏、ライジングサンロックフェスティバルへ出展しませんか?~

フェスティバルに参加型に!!
ブースが用意してある会場へ行きブース内でアピールするハコモノ企画ではなく、より来場者へアピールする参加型の方法を一緒に考えてみませんか?

興味を持ったら
mail: Chihiro.Yamagami@ma5.seikyoku.ne.jp または
PHS:070-5607-8838(山上)までご連絡ください。

ライジングサンロックフェスティバルとは?
北海道石狩湾新港において、1999年から始まり、今年で6年目を迎える日本を代表する野外音楽イベントです。

~RISING SUN ROCK FESTIVAL 2004 in EZO~
日程 2004年8月13日(金)【雨天決行】&2004年8月14日(土)【雨天決行・オールナイト開催】

時間 13日 Open 11:00 / Start 15:00 / End 22:30
14日 Open 11:00 / Start 13:00 / End 5:00(15日)
場所 石狩湾新港樽川ふ頭横野外特設ステージ
チケット 13日券7,000円・14日券9,000円
・通し券14,000円

詳細はHPをご覧ください <http://RSR.wess.co.jp/>

今年5回目。元アフリカドラム・ジェンベ仲間から始まった「たう」のファンで、結成している春キタ実行委員会での開催イベント紹介です。車いすの方も大歓迎です。・・・

夏もちがづく「春が来た！たうが来た！コンサート」

毎春おなじみの春キタコンサートのお知らせです！
北海道在住のアコースティックバンド「たう」
宇井ひろし（新得） 塚田タカヤ（旭川） 波多野信子（石狩）の3人のハートウォームなコンサートです。
フリーマーケットもあります！
日時：5月21日（金）18時開場 18時半開演
会場：北海道クリスチャンセンター2階ホール
札幌市北区北7条西6丁目 TEL 736-3388
チケット：前売り 大人2000円 小中高生1000円
当日 大人2500円 小中高生1500円
*乳幼児は無料。取扱先：大丸・4プラプレイガイド
・環境友好雑貨店これからや
主催：春キタ実行委員会
mikayon@aquaplala.or.jp 090-3890-9799（和田）
usap@mb6.seikyuu.ne.jp 090-3898-4696（斎藤）
shou@wb3.so-net.net.jp TEL&FAX 854-6121（藤田）

葬送を考える市民の会 イベント情報

問い合わせ：011-261-6698 (tel&fax)
講演会「樹木葬墓地」
～里山保全を考えた自然な葬法～
5月16日（日）14:00～16:00
札幌エルプラザ2階 環境プラザ研修室
（札幌市北区北8西3 JR札幌駅北口前）
講師：岩手県一関市祥雲寺住職 千坂げんぼう師
参加費1000円。定員100名
問合せ/申込 TEL・FAX 011-261-6698

仏教講座 戒名、お布施などの本来の意味を知り
葬儀について考えてみましょう。
5月28日（金）13:30～15:30
札幌市民会館 参加費1000円
「全道5カ所巡回葬送無料相談会」医療・福祉機構助成
事業（函館、旭川、帯広、釧路、北見）
「自分流の旅立ちプラン」～公開講座～ 全8回
6月13日～9月25日テーマ「最近の葬儀事情」「公
正証書遺言」「終末期医療」「成年後見法」など
「平岸霊園見学会」6月8日
「旅立ちの衣装は手づくりで」6月20日7月31日

札幌チャレンジド イベント情報

問い合わせ：TEL 011-261-0074
FAX 011-261-6524
Mail challenged@npohokkaido.jp
URL <http://www.npohokkaido.jp/challenged/>

障害のある方に
インターネット無料1日体験講座

北海道総合通信局の助成金事業
日時・会場：下記会場の13時30分～15時30分
1) 5月22日（土）北海道東海大学
2) 5月29日（土）札幌学院大学
3) 6月5日（土）北星学園大学
当日は福祉車両をご用意しております。送迎を

ご希望の方は申込の際にお問い合わせください。
定員：各会場 先着30名
講習内容：
1) お役立ちホームページの紹介
2) チャット：インターネットでおしゃべり
3) ヤフーグループ：インターネットをグループ
で楽しもう

申込方法：札幌チャレンジド事務局へ電話、ファックス、メールにてお申込ください。

（各大学への連絡はご遠慮ください）

ボランティア募集：当日お手伝いいただけるボランティアを募集しています。3大学の学生さん、またそれ以外の方でも歓迎です。申し込みは札幌チャレンジドまで。

札幌チャレンジド NPO向け **プレゼンテーション**
を楽しく！全4回 フリーソフト「OpenOffice(オープンオフィス)」でプレゼンテーション！

会議、発表会、講演会等、プレゼンテーションソフトは今や必須のツールです。オープンオフィスはワープロ、表計算、図形描画、ホームページ作成機能、等の入った統合ソフト。しかも、インターネットや雑誌等で無料で手に入り、自由に使用できるソフトです。今回の講座ではこのソフトでプレゼンテーション作成の基本を学びます。仕事に趣味に、ぜひご活用ください。セミナーではテキストの他にオープンオフィスのソフトと公式マニュアルの入ったCDを配布します。

日時：5月19日～6月9日毎週水曜
18時30分～21時
対象者：NPOで活動をしている方又はこれからNPOで活躍したいと考えている方。基本的なパソコンの知識があり操作（入力、保存）できる方、又は同レベルの知識のある方。
講習内容：

1日目：OpenOffice 基本操作
2日目：OpenOffice 基本操作
3日目：OpenOffice 基本操作プレゼンテーション完成
4日目：NPO活動でこれは使えるインターネット活用法
講習代：10,100円（講習4回分 税込）テキスト代：1,600円（税込 Openoffice用）550円（税込 インターネット活用法）
会場：札幌ビル7階 札チャレ セミナー会場
住所：札幌市中央区北5条西6丁目
締切日：5月12日（水）詳細はお問い合わせください

札幌チャレンジドパソコンボランティア養成研修会
障害を持っている人のパソコン活用を支援するボランティア養成研修会を道内各地で開催します
第1回目 岩見沢市（6月12日、13日）
第2回目 滝川市（6月26日、27日）
第3回目 名寄市（7月3日、4日）
第4回目 江差町（7月10日、11日）
第5回目 室蘭市（7月24日、25日）
第6回目 日高町（7月31日、8月1日）
第7回目 稚内市（8月7日、8日）
1日目は10時～5時。2日目は9時～4時を予定しています。（会場により変更になる場合もあります）2日間連続で受講していただきます。道からの委託事業
<受講対象者> 障害者へのパソコンボランティアに関心のある方 パソコンの基本操作ができる方
<受講料> 無料
<受講申込み> 札幌チャレンジドのHPからお申込み下さ

- い。<定員> 各会場20名(先着順)
 <研修カリキュラム(12時間で構成)>
 (1) 障害者にパソコンを教えるときの心構え・注意点
 (2) 障害を補う入力機器の紹介と操作実習
 (3) パソコン操作の音声読上げソフトに関する講習
 (4) ホームページの音声読上げに関する講習
 (5) メールに関する講習
 (6) 各種ホームページの紹介

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ
 「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、
 IT推進NPOの紹介
 パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援
 助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります)
 詳細はお問い合わせください。
 電話011-204-6523(担当:畑)

下記の助成金情報についてはインターネットからの取得情報(抜粋)です。詳細は各助成元に問合わせ下さい。
 (印の情報については、北海道NPOサポートセンターに応募要項があります。)

「水域環境をめぐる学習活動等の成果公表支援」事業
 財団法人日本科学協会 助成元【日本財団】
 URL: <http://www.jss.or.jp/suiiki/>
 金額: 100万円を上限として、申請内容を考慮の上、助成額を決定

締切り日: 2004年6月4日
 地域特性をもつ水域環境に積極的に係わるNGO、NPO、研究・学習グループ等の環境学習活動や保全活動を評価し、その果実を地域社会に還元・浸透させることを促すために、市民一般の意識啓発・高揚に大きく寄与することが期待される成果報告・公開を支援します。トータルに水の係わる世界を様々な形で見つめ、調査・研究・学習活動を行うNGO・NPO・市民グループが対象です。電話03-6229-5365 FAX03-6229-5369

フィリップ モリス ジャパン市民活動～住民活動助成
 URL: <http://www.civilfund.org/>
 金額: 第1段階:1件あたり上限100万円、第2段階:1件あたり上限500万円、第3段階:1件あたり500万円
 締切り日: 2004年5月24日
 このプログラムでは、「生きる場としてのコミュニティづくり」をテーマに、地域社会の課題を解決し、地域に暮らす人たちが共に安心して生活を送れるようなコミュニティづくりを支援します。
 今回特に支援する課題は、(1)地域の特長を生かし、さまざまな地域資源や志源を活用したプロジェクト(課題A)と、(2)課題を抱えて生きる人たちの生活を一体的に支えるプロジェクト(課題B)です。
 問合せ:電話03-3509-1519 フィリップ モリス広報部

ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援 助成元: ファイザー株式会社
<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/>
 金額: 上限300万円。今年度は総額3000万円、15件程度の助成を行う予定。締切り日: 2004年6月28日
 本年度の重点課題は、「成長過程にある人たちの心身の発達を支援する活動」、「社会的な受け皿がないために保健・医療が受けられない人たちの心身のケアを支援する活動」、「障害をもつ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動」です。日本国内に活動拠点があり、原則として2年以上の活動実績があることが必要です。問合せ 電話03-5309-7663 fax03-5309-9004

2004(平成16)年度「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした市民活動助成 助成元: 財団法人ユニバーサル財団 URL: <http://www.univers.or.jp/>
 金額: 原則として1件当たり100万円を限度
 締切り日: 2004年7月31日
 高齢者が活動する市民活動団体や、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体を主に支援しますが、国際支援、交流等を行っている市民活動団体も対象となります。市民活動、または催し物等の事業に直接要する諸経費を助成します。問合せ 電話03-3350-9002 fax03-3350-9008

平成16年度(第30回)社会福祉助成金募集要項
 社会福祉法人 丸紅基金 助成金総額は1億円を目処とし、50件以上の助成を行います。1件当たりの助成金額は、原則として、200万円を上限とします。当基金の助成は、わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体が企画する事業案件で、次の条件を具備するものを対象とします。申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること等
 ・申込方法 申込書など申込関係書類は、URLからダウンロードしてください。ダウンロードができない場合には、ファックス、ハガキ、または、Eメールにて、下記を明記の上、当基金にご請求ください。郵便番号と住所、団体名、担当者名、電話番号、ファックス番号
 申込受付期間 申込〆切 6月30日(水)
 *問い合わせ〒108-0014 東京都港区芝5-20-6 丸紅東京本社 三田別館 社会福祉法人 丸紅基金
 電話:03-5446-2474・2475 ファックス:03-5446-2476
 E-mail: mkikin@marubeni.com

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃(北海道大学教授)
 杉岡 直人(北星学園大学教授)
 杉山さかえ(北海道グリーンファンド理事長)
 横山 純一(北海学園大学教授)
 事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ
 事務局長 小林 董信
 〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
 クワガタビル2F
 TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524
 E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp
 URL <http://npo-hokkaido.org/>